

「原則自宅療養」を撤回し

命を救う **あらゆる** 手だてを



共産党・志位委員長が提起

日本共産党の志位和夫委員長は8月17日、国会内での記者会見で、新型コロナウイルスの感染爆発に対する必要な対策について問われ、「現下の感染拡大局面で何よりも大事なものは、命を救うためのあらゆる手だてをとることだ。そのためにも政府が打ち出した『原則自宅療養』の方針は正式に撤回すべきだ」と強調しました。

命救う手だて緊急に

- ◆入院病床を増やす
- ◆医療機能を強化した宿泊療養施設の大規模増設
- ◆臨時の医療施設を大規模に増設
- ◆そこに医療従事者を集め、早い段階からの治療を開始する

志位氏は、日本共産党が求めてきたのは、第一に、政府がワクチン供給・接種に責任をもつこととセットで、とくに感染が広がっている職場、家庭、学校などで大規模検査を行い、感染伝播（でんぱ）の鎖を断つことだと指摘。第二に、十分な補償が必要だとして、持続化給付金、家賃支援給付金の2度目の支給や、困窮者に対する給付金の抜本的な拡充、医療機関に対する減収補てんが必要になると強調しました。

その上で志位氏は、「感染が爆発的に拡大している現下の状況で、とくに強調したいのは、あらゆる手だてをつくって命を救うことだ」と指摘し、政府が打ち出した重症化リスクなどのある患者を除いて「原則自宅療養」とする方針について、「まったく許し難い方針だ。自宅療養では、いざという時の対応もできず、命を落とすことになる。正式に撤回すべきだ」と強調しました。

そのうえで志位氏は、政府の責任で、重症化を最大限防ぐべき**緊急の対策（左囲み参照）**を提起しました。

志位委員長の会見の動画は→→



声をあげれば政治は変えられる
東京パラは中止し
コロナ対策に総力を



笠井 亮
衆議院議員



宮本 徹
衆議院議員



池内さおり
前衆議院議員



坂井和歌子
吉良・山崎事務所事務局長



谷川 智行
党都副委員長・医師



ほその真理
党中央地区副委員長

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2021年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介いたします。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

#比例は

日本共産党

「原則自宅療養」を撤回し

命を救う **あらゆる** 手だてを



共産党・志位委員長が提起

日本共産党の志位和夫委員長は8月17日、国会内での記者会見で、新型コロナウイルスの感染爆発に対する必要な対策について問われ、「現下の感染拡大局面で何よりも大事なものは、命を救うためのあらゆる手だてをとることだ。そのためにも政府が打ち出した『原則自宅療養』の方針は正式に撤回すべきだ」と強調しました。

命救う手だて緊急に

- ◆入院病床を増やす
- ◆医療機能を強化した宿泊療養施設の大規模増設
- ◆臨時の医療施設を大規模に増設
- ◆そこに医療従事者を集め、早い段階からの治療を開始する

志位氏は、日本共産党が求めてきたのは、第一に、政府がワクチン供給・接種に責任をもつこととセットで、とくに感染が広がっている職場、家庭、学校などで大規模検査を行い、感染伝播（でんぱ）の鎖を断つことだと指摘。第二に、十分な補償が必要だとして、持続化給付金、家賃支援給付金の2度目の支給や、困窮者に対する給付金の抜本的な拡充、医療機関に対する減収補てんが必要になると強調しました。

その上で志位氏は、「感染が爆発的に拡大している現下の状況で、とくに強調したいのは、あらゆる手だてをつくって命を救うことだ」と指摘し、政府が打ち出した重症化リスクなどのある患者を除いて「原則自宅療養」とする方針について、「まったく許し難い方針だ。自宅療養では、いざという時の対応もできず、命を落とすことになる。正式に撤回すべきだ」と強調しました。

そのうえで志位氏は、政府の責任で、重症化を最大限防ぐべき**緊急の対策（左囲み参照）**を提起しました。

志位委員長の会見の動画は→→



声をあげれば政治は変えられる
東京パラは中止し
コロナ対策に総力を



ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2021年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党